

名作再読 15

いま読んだらこんなに面白い

●
船山 徹

インド哲学から再読する『意識と本質』(井筒俊彦)

●
酒井 朋子

川蟹になったおもかさま — 石牟礼道子『樁の海の記』

●
都留 俊太郎

世界史を紡ぐ『危険な言語』— エスペラントの魅力を探る

2023年 対面 × オンライン視聴

7月15日(土) 入場・視聴
無料

13:00-17:00 人文研本館 大会議室

本シンポジウムは対面とZoomウェビナーを利用したオンライン視聴を併用して実施します。いずれも入場・視聴は無料です。



- 対面での参加を希望される方は、事前登録不要ですので当日会場にお越しください。
- オンラインでの視聴を希望される方
左のQRコードまたは以下のリンクから事前登録をお願いいたします。
https://zoom.us/webinar/register/WN_3VcXwGAaQk6PIHFrLV-8DQ
*ご登録いただいたメールアドレスに追って視聴用URLが送付されますので、シンポジウム当日はそちらのURLにアクセスをお願いいたします。

主催
お問い合わせ

京都大学人文科学研究所
京都大学人文科学研究所 総務掛
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL 075-753-6902 (月~金 9:00-17:00)
mail:z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp



<https://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp>



京都大学人文科学研究所では、来たる7月15日(土)に、恒例の夏期講座「名作再読」を開催いたします。今回は、東洋思想といえはこの人一井筒俊彦(1914-1993)、不知火海の四季を謳いあげる石牟礼道子(1927-2018)、そして人工言語エスペラントにかんするウルリッヒ・リンス(1943-)の著作や活動を取りあげ、縦横に語ります。読んだことのある人は改めて、読んでない人は水先案内人と一緒に、夏の午後のひととき、名作に触れてみませんか？

講師紹介



船山 徹

京都大学人文科学研究所 教授

専門 仏教学

主著 『梵網經の教え：今こそ活かす梵網戒』
『仏典はどう漢訳されたのか—ストラが経典になるとき』



酒井 朋子

京都大学人文科学研究所 准教授

専門 人類学

主著 『紛争という日常：北アイルランドにおける記憶と語りの民族誌』



都留 俊太郎

京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センター 助教

専門 環境史

主要論文 「台湾語 王育徳における大衆と「チャンポン語」」
『生活綴方で編む「戦後史」』 岩波書店



予告



連続講座 **読んで旅して考える：文献研究とフィールドワーク**

《全4回》 9月29日(金) } 各回 18:00~20:00
10月13日(金)
10月20日(金)
10月27日(金)

対面・
オンライン
併用開催

講師 稲葉譲・中西竜也・小倉智史・杉山雅樹

場所 人文研本館 セミナー室1

Access

